

# 高知くらしの護身術

372

## まつげエクステンション

### 目への危険性理解して

(2015年10月28日掲載原稿)

「まつげエクステンションの施術をしたところ、目が痛くなり、涙が止まらなくなりました。眼科に行くと『角膜に傷が付いている。接着剤が原因ではないか』と言われた」

こうしたまつげエクステンションによる危害の相談が増えています。

まつげエクステンションは、まつげを長く濃く見せるために、接着剤（グルー）を用いて、まつげに類似した人工毛を、まぶたから1～2ミリほど離してまつげに接着するものです。まつげ1本に人工毛を1本付ける技法が主流で、通常2～4週間程度で自然に人工毛が外れますが、専用の薬剤（リムーバー）を用いて外すこともできます。

類似したものとして、つけまつげがあります。これは人工毛をまぶたに直接貼り付け、簡単に取り外すことができます。「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」により、使用される接着剤からのホルムアルデヒドの溶出量が規制されています。

これに対して、まつげエクステンションに用いられる接着剤については、業界団体の自主基準はあるものの、法律による成分の規制はありません。

過去1年間にまつげエクステンションの施術を受けた10～50代の女性千人を対象に、国民生活センターが実施したアンケート調査によると、全体の25%が目やその周辺などに異変や違和感を経験していました。

まつげエクステンションは、刺激に敏感で感染症などにかかりやすい目の周辺への施術です。危険性を理解したうえで、施術を受けるかどうか決めましょう。

まつげエクステンションの施術を受けたことで目やその周辺に異常を感じた場合は、直ちに医療機関を受診しましょう。その際、必ずまつげエクステンションの施術を受けたことを告げましょう。